

令和5年（2023年）5月4日（木）～5日（金） 日光白根山（2578m）残雪雪山登山

昨日に続き、5日も快晴でした。

今日は、雪の残る白根山を5時間30分ほどかけて登ります。歩行時間は標準時間からすると1時間ほど余裕を持った計画にしました。

宿の主人によれば、この時期は道迷いが多いとのことでした。中島さんのスマホに山のナビをセットしてもらい、万全を期すことにしました。

（今回の登山コース：ナビデータより）



5月5日（金曜日） 快晴

昨夜、吉松は8時過ぎには布団にもぐり、田上さんも9時頃には床に就いた。

隣の部屋の女性二人も似たようなものか？

男性陣は翌朝3時位には目が覚めて、我慢が出来ず4時には起きだして布団も片づけ始めた。





4時40分

かなり空は明るくなってきた。
青空が広がり、木々も揺れていないので風の心配も無さそうだ。



6時40分

山の家「不思議草」に明るい日が差ししてきた。
絶好の登山日和になった。

朝食は7時

ロープウェイの運転開始時刻が8時30分なので、登山とは思えぬほど朝食はゆっくりとすることにした。



桃のジュース、挽きたてのコーヒー、ヨーグルト、焼きたてのパン
ラディッシュ、ハム、チーズ、卵焼き

なかなか、豪勢だ！！



良い香りが立っているパンは、殊の外おいしかった。



7時45分からロープウェイのチケット販売を始めるということだったので、早めに日光白根山ロープウェイセンターステーションに向かった。宿からは車で1分。

チケット購入はすべて中島さんをお願いした。ロープウェイに乗るには事前の手続きがかなり厳格だ。

- ・登山計画書の提出は必須
 - ・遭難時、早期救助のための位置情報発信機「ココヘリ」のレンタル手続きも必須
- 「ココヘリ」は各自一個ずつ持たされた。

以上が済んで初めてチケット購入が可能だ。



センターステーションには、日帰り温泉施設まで付属している。

下山時刻の遅れた我々は、結局この温泉にお世話になった。

ステーション前で写真を撮り、早速ロープウェイ乗り場へ移動



記念写真を撮ってから、ロープウェイ乗り場へ

既に運転開始を待っている登山客が並んでいた。我々もその後ろについて入り口が開くのを待った。



日光白根山ロープウェイは、長さ2500m、高低差600m
乗り場から山頂駅までの所要時間は15分
8時30分ぴったりに運転が開始された。



標高が上がるにつれて、武尊山、至仏山、燧ヶ岳が現れ、遠くには谷川岳も望むことが出来た。

ゴンドラからは丸沼高原スキー場のゲレンデが見下ろせたが、今年の暖かさの為に雪はかなり少ない。



15分でロープウェイ頂上駅に到着
(標高 2000m)

頂上駅を出て、すぐ目の前にそびえるのが
白根山
早速記念写真に収まった。



頂上駅周辺はかなり広々としている。

この時間は朝一番のロープウェイ利用客だけしかいないので、人はまばらだ！

展望台や足湯の施設もあったが、今回は何故か足湯に湯が張ってなかった。



標高が書かれた標識前には、撮影のためにスマホを置くための写真台が作られていた。

写真台の上にスマホをセットすれば、ご覧の通りの写真(左)がバッチリと撮れる仕掛けがしてあった。

足湯の前は木造の展望台

(服部さんの写真だけが無くて失礼！)



9時に登山開始

白根山山頂へは、避難小屋分岐経由で目指す。

山頂で昼食をとったのちに座禅山方面に下り、七色平を経由して再び避難小屋分岐に戻りロープウェイ山頂駅に至るコースだ。



二荒山(ふたらさん)神社の大鳥居をくぐって山道へ



すぐに二荒山神社が現れた。
男体山をご神体として仰いでいる神社だ。
皆で、今回の登山の無事を祈る。

歩き始めて20分～30分ほどの所までは、大して雪は残っていなかった。



30分ほど歩いたところで小休止

山道に残る雪が多くなってきた。
安全のためにアイゼンを装着することにした。



9時45分

山道脇に大日如来が鎮座していた。雪に潰されないように、鉄パイプで守られていた。

山岳修験者にとって、古くから信仰の対象となっているとか・・・。

大日如来を過ぎたあたりが避難小屋分岐地点。分岐を七色平方面へ入って行くと避難小屋がある。

我々は七色平方面に左折せず、まっすぐ白根山山頂に向かった。

暫くは、急登あり、トラバースあり、油断のない登山道が続いた。

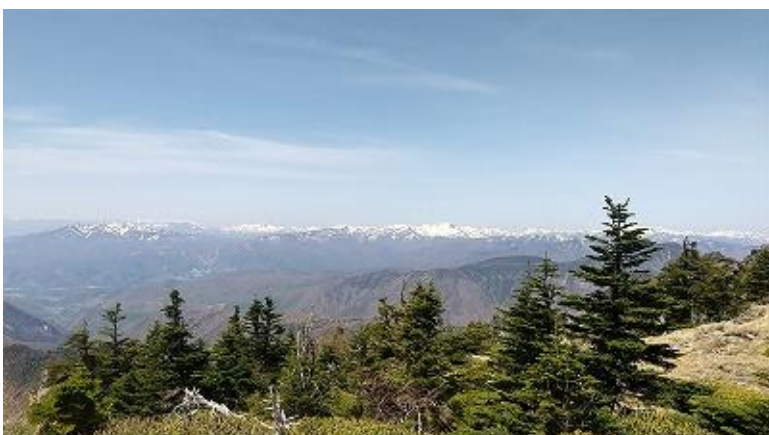


11時過ぎ、森林限界辺りを抜けた。前方に日光白根山の雄姿が広がった。



視界から高い樹木が消えたのは突如であった。

森林限界とはよく言ったものだ。



振り返れば、至仏山や燧ヶ岳方面の山々が雪をかぶっている。

靄のためにはっきりは見えなかったが、南東の方向に富士山のシルエットを認めることもできた。

爽やかな風が吹き、穏やかな天気にも恵まれた。
アイゼンも外して、汗が引くまでゆっくり休憩することにした。



関東方面から来たという、元気のよい2人の若い女性が撮影してくれた。



大休止をしたお陰で元気が出てきた。山頂はすぐそこに見える。
11時20分、踏ん張って一気に頂上を目指した。

残雪を横に見ながら、ガレ場の登山道を登ったが、足をしっかり土に付けないとズルッと足が滑り、結構体力を消耗する
簡単に、一気に頂上という訳にはいかなかった。



行く手に祠が見えてきた。山頂直下で安全登山を最後に祈願する祠だ！



小ぶりだが、堂々たる「奥白根神社」



山頂まであと一息の所に来た。

大きな岩に阻まれて歩きにくい。

11時55分、山頂（2578m）に立った。

山頂はかなり狭く、標識前での写真撮影は大混乱だ！ 順番を待って、記念撮影を行った。



山頂は本当に狭い。とてもゆっくり食事をする場所は無かった。

少し下ったところに風をしのげる場所を探して、昼食をとることにした。



昼食は宿で準備してくれたおにぎり弁当
一寸ご飯が固いのが難か・・・。



山頂からはエメラルド色の五色沼を見下ろすことも出来た。



12時50分、下山開始

下山は、座禅山方面に向かって降りる。七色平分岐を経て七色平に入り、登りで通過した避難小屋分岐（大日如来の祠があった場所）を目標とするルートをとった。



スタートの下りで少しルートを間違ったが、中島さんのスマホナビで無事にルート修正

この時期の登山道で難儀なのは、道に雪が有ったり無かったりを繰り返すことか？

アイゼンが役立つときもあれば、邪魔になったりもする。アイゼン脱着の繰り返りで大分手間取った。





【ここで計画者 吉松の大懺悔】

中島さんが作成してくれた初日レポートに、吉松が作った計画書に浅草駅7時02分発と書かれていてえらい迷惑を被ったと書いてあった。

実は2日目のレポートを作りながら、計画書にもっと大きなポカがあったことを発見した。

下山時のロープウェイ山頂駅到着時刻を14時20分と書いていたのだが、15時20分の間違いであった。早い話が、時間の足し算を間違った!!!

歩きながら、「計画の14時20分に到着は難しい。」「1時間は遅れそうだ!」「アイゼンの脱着で時間を取られすぎた。」などと話していたのだが、何のことは無い、15時20分着が正しかったのだ。

田上さん、中島さん、服部さんには、大変ご心配をおかけしました。

14時過ぎに七色平分岐地点に到着した。



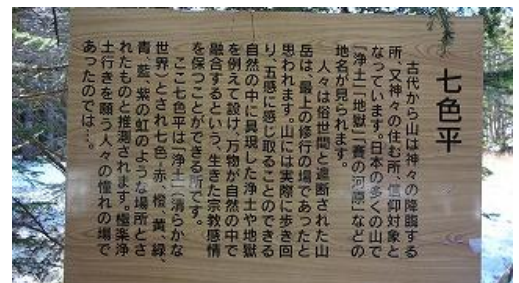
雪上の踏み跡だけをたよりに下ってきたが、やっと標識に出会えて一安心!

標識のない場所では、中島さんのスマホナビが大活躍してくれた。



七色平

説明板によれば、神々が降臨する神聖な場所として信仰の対象になっているようだ。





登りでは見られなかった避難小屋に到着

かなり朽ち果てていて、ほとんど使用には耐えそうもなかった。

避難小屋から避難小屋分岐まではすぐに着いた。登りで見た大日如来まで来たので、もう道迷いの恐れはない。



道迷いの恐れは無くなったが、踏み跡であちこちに穴の開いた雪道は歩きにくい。

あっちでつまずき、こっちで尻もちをつきながら下った。



15時5分

やっと雪道もなだらかになってロープウェイ乗り場が近づいてきた。



15時20分

ロープウェイ頂上駅に戻った。

再び4人で歓喜の集合写真に収まった。



計画者 吉松の杜撰計画の為に、ロープウェイセンターステーションに戻ったのは15時40分

計画では奥日光湯元温泉で汗を流すつもりであったが、やむを得ずセンターステーション内の「座禅温泉」に入ることになった。入浴時間は40分



湯から上がって、レンタカーで急いで日光駅に向かった。

まずまず車は順調に流れていたが、いろは坂下りに入ってから流れが悪くなった。東武日光駅発18時10分の特急に間に合わないと、予約の取り直しが面倒だ。そもそも次の特急の席が空いているのかも怪しい。車中に緊張が漂った。

自動車専用道「日光宇都宮道路」に入ってから車の流れも良くなり、やっと一息ついた。レンタカーに給油をする時間も惜しいので、走行距離でガソリン代を清算してもらった。

何とか、18時10分発の「東武特急リバティけごん48号」に間に合った。



東武日光駅に無事到着

バタバタとしながらも、しぶとく缶ビールと日本酒の購入だけは忘れずに乗車した。

本日の白根山登山に乾杯！！



【田上さんの感想】

樹木で覆われた沢沿いの道は、まだ雪が深く下りの時、次の足で踏む雪は土の上に積もった雪なのか、窪みの上に積もった雪なのか足を置く位置でスムーズに歩けるか、ずぼっとはまるか一歩ずつの判断で疲労の度合いが大きく異なりました 貴重な経験となりました。

色々なことがありましたが、楽しい二日間でした。

【中島さんより】

百名山の1つ、日光白根山を計画していただきありがとうございました。

下山の途中からアイゼンを外し、しばらく雪道をアイゼンなしで下ることになり、大変苦勞しました。

先頭としては大変失敗の判断でした。すみませんでした。アイゼンを外したせいでも下山に時間がかかってしまったと思います。とはいえ、15:20が計画の下山時刻だったとのことで、ちょっと安心。今回はヤマレコを設定していたお陰で迷子にならずに助かりました。これからも引き締めて登山に臨みます。

日光の観光もできてとても楽しかったです。吉松さん、企画に運転にとありがとうございました。

【服部さんより】

2月に北横岳に参加して以降3月伊豆三山、4月守屋山と天候による日程変更で参加できず、久しぶりにクマさん会登山に参加できました。日光白根山に備えて個人的にはちょこちょこ修行していましたが、下山後はやは

り筋肉痛に(>_<)。下山途中、雪溪の急斜面をアイゼンつけずに下った時に足に余分な力が入ってしまっているのを自覚しながら下山していたので、それが敗因。もっと登り下りのテクニックを上達させたいです。日光白根山ツアーは、快晴に恵まれ、レンタカーで観光、ペンション泊も快適、百名山だけに山の景観、山頂からの景色も絶景で、今年初の本格登山、大満足でした！企画・運転の吉松さん、何かあっても頼りになるみっちゃん先輩、パンお代わり自由で大喜びの田上さん、楽しい旅をありがとうございました～

【吉松より】

お陰で楽しい登山でした。

しかし、計画書のポカで、田上さん、中島さん、服部さんにはご迷惑と、ご心配をかけてしまいました。今年4月に後期高齢者の仲間入りをしました。どうやら一気にボケたのではないかと、密かに恐れています。

これに懲りずに、私の計画にまた参加してください。